【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和4年7月20日(2022.7.20)

【国際公開番号】WO2020/011964
【公表番号】特表2021-524268(P2021-524268A)
【公表日】令和3年9月13日(2021.9.13)
【出願番号】特願2021-500385(P2021-500385)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ 15/13(2006.01)
Ｃ０７Ｋ 16/28(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/63(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 1/15(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 1/19(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 1/21(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 5/10(2006.01)
Ｃ１２Ｐ 21/08(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ 15/13
Ｃ０７Ｋ 16/28 ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ 15/63 Ｚ
Ｃ１２Ｎ 1/15
Ｃ１２Ｎ 1/19
Ｃ１２Ｎ 1/21
Ｃ１２Ｎ 5/10
Ｃ１２Ｐ 21/08
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｎ
Ａ６１Ｐ 35/00

【誤訳訂正書】
【提出日】令和4年7月11日(2022.7.11)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
プログラム死リガンド１（ＰＤ－Ｌ１）及びＣＤ１３７に結合する抗体分子であって、
（ａ）ＰＤ－Ｌ１の相補性決定領域（ＣＤＲ）ベースの抗原結合部位；及び
（ｂ）前記抗体分子のＣＨ３ドメインに位置するＣＤ１３７抗原結合部位
を含み、前記ＣＤＲベースの抗原結合部位が、<u>Ｋａｂａｔ番号付けにより、</u>
（ｉ）それぞれ配列番号１、２、３、４、５及び６［E12v2］；
（ｉｉ）それぞれ配列番号１、２、３、１８、１９及び２０［E05v2］；又は
（ｉｉｉ）それぞれ配列番号１、２、３、１８、１９及び２９［G12v2］；
に記載のＣＤＲ１～６を含<u>むか</u>、<u>又は</u>
<u>前記ＣＤＲベースの抗原結合部位が、ＩｍＭｕｎｏＧｅｎｅＴｉｃｓ（ＩＭＧＴ）番号付けにより、</u>

（ｉ）それぞれ配列番号７、８、９、１０、１１及び６［Ｅ１２ｖ２］；
（ｉｉ）それぞれ配列番号２１、８、９、２２、１１及び２０［Ｅ０５ｖ２］；又は
（ｉｉｉ）それぞれ配列番号２１、８、９、２２、１１及び２９［Ｇ１２ｖ２］；
に記載のＣＤＲ１～６を含み、
前記ＣＤ１３７抗原結合部位が、それぞれ、前記ＣＨ３ドメインのＡＢ及びＥＦ構造ループに位置する第１の配列及び第２の配列を含み、前記第１及び第２の配列が、それぞれ配列番号１１３及び１１４［FS22-172-003］、又は７９及び８０［FS22-53-008］に記載の配列を有する、
抗体分子。
【請求項２】
前記抗体分子が、
（ｉ）それぞれ配列番号１２及び１４［E12v2］；
（ｉｉ）それぞれ配列番号２３及び２５［E05v2］；又は
（ｉｉｉ）それぞれ配列番号２３及び３０［G12v2］
に記載のＶＨドメイン及びＶＬドメインを含む、請求項１に記載の抗体分子。
【請求項３】
前記抗体分子が、
（ｉ）Ｋａｂａｔ番号付けにより、それぞれ配列番号１、２、３、４、５及び６に記載のＣＤＲ１～６［E12v2］；
（ｉｉ）ＩＭＧＴ番号付けにより、それぞれ配列番号７、８、９、１０、１１及び６［Ｅ１２ｖ２］；及び／又は
（ｉｉｉ）それぞれ配列番号１２及び１４に記載のＶＨドメイン及びＶＬドメイン［E12v2］
を含む、請求項１又は２に記載の抗体分子。
【請求項４】
（ｉ）前記第１の配列が、前記抗体分子の前記ＣＨ３ドメインの１４位と１７位の間に位置している；及び／又は
（ｉｉ）前記第２の配列が、前記抗体分子の前記ＣＨ３ドメインの９１位と９９位の間に位置しており；並びに
アミノ酸残基の番号付けが、ＩＭＧＴ番号付けスキームに従う、
請求項１から３のいずれか一項に記載の抗体分子。
【請求項５】
前記抗体分子が、配列番号１１５［FS22-172-003］又は配列番号８１［FS22-53-008］に記載のＣＨ３ドメインを含む、請求項１から４のいずれか一項に記載の抗体分子。
【請求項６】
前記ＣＨ３ドメイン配列が、当該ＣＨ３ドメイン配列のＣ末端のすぐ隣にリジン残基（Ｋ）をさらに含む、請求項５に記載の抗体分子。
【請求項７】
前記抗体分子が、抗体：
（ｉ）それぞれ配列番号１３４及び１７に記載のFS22-172-003-AA/E12v2；
（ｉｉ）それぞれ配列番号１３７及び２８に記載のFS22-172-003-AA/E05v2；
（ｉｉｉ）それぞれ配列番号１４０及び３３に記載のFS22-172-003-AA/G12v2；
（ｉｖ）それぞれ配列番号１４３及び１７に記載のFS22-053-008-AA/E12v2；
（ｖ）それぞれ配列番号１４６及び２８に記載のFS22-053-008-AA/E05v2；又は
（ｖｉ）それぞれ配列番号１４９及び３３に記載のFS22-053-008-AA/G12v2
の重鎖及び軽鎖を含む、請求項１から６のいずれか一項に記載の抗体分子。
【請求項８】
前記抗体分子が、それぞれ配列番号１３４及び１７［FS22-172-003-AA/E12v2］に記載の重鎖及び軽鎖を含む、請求項１から７のいずれか一項に記載の抗体分子。
【請求項９】

前記重鎖配列の前記ＣＨ３ドメイン配列が、当該ＣＨ３ドメイン配列のＣ末端のすぐ隣にリジン残基（Ｋ）をさらに含む、請求項８に記載の抗体分子。
【請求項１０】
（ｉ）前記抗体分子が、１つ以上のＦｃγ受容体への前記抗体分子の前記ＣＨ２ドメインの結合を低減又は抑制するように修飾されている、
（ｉｉ）前記抗体分子が、１つ以上のＦｃγ受容体に結合しない、及び／又は
（ｉｉｉ）免疫細胞上のＣＤ１３７への及び腫瘍細胞表面に結合したＰＤ－Ｌ１への前記抗体分子の結合が、前記免疫細胞上のＣＤ１３７のクラスター化を引き起こす、
請求項１から８のいずれか一項に記載の抗体分子。
【請求項１１】
請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体分子をコードする、１つ又は複数の核酸分子。
【請求項１２】
請求項１１に記載の１つ又は複数の核酸分子を含む、１つ又は複数のベクター。
【請求項１３】
請求項１１に記載の１つ又は複数の核酸分子、又は請求項１２に記載の１つ又は複数のベクターを含む、組換え宿主細胞。
【請求項１４】
前記抗体分子の産生条件下で請求項１３の組換え宿主細胞を培養することを含み、任意で、前記抗体分子を単離及び／又は精製することをさらに含む、請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体分子を産生する方法。
【請求項１５】
請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体分子と、薬学的に許容される賦形剤とを含む、医薬組成物。
【請求項１６】
個体における癌の治療のための医薬組成物であって、請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体分子を含む、医薬組成物。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１４７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１４７】
抗体分子のＣＨ３ドメインは、任意選択により、ＣＨ３ドメイン配列のＣ末端のすぐ隣に追加のリジン残基（Ｋ）を含み得る。